

平成27年度 第4回 八幡市男女共同参画プラン懇話会
議事録

開催日時	平成28年1月27日(水) 午後2時30分開会～午後4時00分開会
開催場所	八幡市商工会 2階会議室
会長	森川委員
出席者	岩崎委員、大隅委員、谷垣委員、能瀬委員、村田委員、 森川委員、山中委員、佐野委員、野田委員、浜野委員 (以上10名)
欠席者	
議題	(1) 八幡市男女共同参画プラン 改訂版(素案)について (2) パブリックコメントの実施について (3) その他
資料	<ul style="list-style-type: none"> ●配布資料 <input type="checkbox"/>懇話会レジュメ <input type="checkbox"/>計画書素案第1章・2章 <input type="checkbox"/>計画書素案第3章・4章 (一部当日差換え) <input type="checkbox"/>パブリックコメント募集広報

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 の 要 旨
事務局	<p>1. 開会</p> <p>○開会あいさつ</p> <p>本日も傍聴希望者はなかったので、ここで報告させていただきたい。</p> <p>○資料確認</p>
会長	<p>○あいさつ</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 八幡市男女共同プラン 改訂版(素案)について</p> <p>それでは、レジュメにそって進めたい。 最初にプランの第1章・第2章について、何かご意見等があればお願いしたい。いかがか。</p>
H 委員	<p>少し工夫すれば分かり易くなるというところが、結構ある。たくさんありすぎるので、大きなところでお諮りしないといけないところだけ言って、諸々の修正等は事務局にお伝えしてよろしいか。</p>
事務局	<p>結構である。</p>
H 委員	<p>まず1ページだが、ここはプランの趣旨で大事なところで、丸の3つ目「しかし、わが国は、少子高齢化の進展、人口減少時代を迎え、社会経済や地域社会などの急速な変化を背景に、」ここまではいいが、その後に関後重点的にするものを書いて、それと男女間の暴力をそのまま並べてはどうか。つまり、「女性の活躍支援やワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)、男女共同参画の視点での防災の取り組み、また、男女間の暴力に関する問題の多様化など、男女共同参画に関して新たな課題や取り組みが求められています。」ですんなりいくのではないか。ここを分ける必要はないと思う。</p>

A 委員	今のところよろしいか。同じ意見である。最後の2行「また、男女間の暴力に関する問題の多様化など、男女共同参画に関して新たな課題や取り組みが求められています。」というのは、新たな課題が求められている、取り組みが求められているという文脈になる。おかしくないか。
H 委員	同じ意見である。本当は「背景に」というのもおかしい。「～地域社会などの急速な変化に伴う新たな課題に対応するため～」と課題と対応策を分けるべきだが、いっしょくたになっている。
A 委員	ひとつの例を申し上げる。「少子高齢化」というのは「進展」か。「進展」というのは、良い方向に向かうことではないのか。もうひとつ言うと「社会経済」は日本語にあるのか。何をイメージしているのか分からない。ここだけでなく、色々ところで散見された。
C 委員	背景と課題と取り組みの3つが1つの文章になってしまっている。分けたほうがすっきりするのではないか。
J 委員	頭の「しかし」は要らないのではないか。
会長	今色々な意見が出てきた段階で次に進めて、後で事務局から説明等をいただく形でよろしいか。
A 委員	答えは今すぐには出ないのではないか。
会長	まず意見だけを頂戴して、進めていくという形にさせていただきたい。他にご意見があれば教えていただきたい。
H 委員	<p>2ページの「ワーク・ライフ・バランス」の定義は大事だと思うので、京都府でもきちんと書いているものがある。「～働き方の見直しなどにより～」と、結構話が飛ぶ。縮小すればこうなるかと思うが、きちんとこういうものは書いておくべきである。例えば「ワーク・ライフ・バランスが実現した社会とは、男性も女性も一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても、子育て期・中高年期といった人生の各段階において、多様な生き方が選択・実現できる社会になることを言います」みたいな定義を使っている。ここに「家庭」や「地域生活」を入れないと、この定義では分からない。</p> <p>5ページの「プランの性格と位置づけ」の丸の2つ目「本プランは、憲法や女性差別撤廃条例、男女共同参画社会基本法の基本理念にのっとり、国や府の「男女共同参画基本計画」、その次に「新京都府男女共同参画計画」</p>

の考え方のもと～」となっているが、これは正しく書かないといけないと思う。「KYOのあけぼのプラン（第3次）－京都府男女共同参画計画」中間年の施策の見直しのパブリックコメントをしている途中なので、それを書いておいたほうがいいのではないか。またこれも後で。細かいことを言うと、5ページが一番下は「いる」を「ます」に変えたほうがいい。

8～9ページは、すごく詳しく国内の動向や京都府の取り組みが書いてあるが、もう少し精査が必要だと思う。どれを載せてどれを載せないのか、大事なものは抜けていないか。例えば気が付いたのは丸の1つ目「昭和50年～その結果、昭和60年の「女子差別撤廃条約」の批准を契機に法制度面の整備が進められました。」というのは、何のことか分からない。やはりここには、男女雇用機会均等法が施行されて今年が30年目なので、この法律は是非入れて欲しい。

府の場合も、気が付いただけでも年が間違えている。「(3) 京都府の取り組み」の丸の2つ目「平成6年には、「京都府の新しい農山漁村女性ビジョン」が策定され、～」これがいきなり入るのか。八幡市にとって大事と思って入れたのならいい。次に「京都府女性総合センター」の開設は、平成8年である。今は括弧して、平成20年に「男女共同参画センター」と名称が変更になっている。そこまで細かく要らないかもしれない。それから、平成17年のチャレンジ支援方策については関わったので覚えているが、アクションプランは予算をつけるためにやったようなことで、少しレベルが違うような気がする。しかし、女性のチャレンジへの支援ということで、八幡市にとって大事だと思ってくれたのなら、入れてもらったほうが嬉しいが、それより平成26年3月の京都府のDVの基本計画の策定が漏れている。それから、丸の最後から2つ目は「～「KYOのあけぼのプラン（第3次）」が策定されました。」で終わっているが、その施策の見直しを今やっているのだから、「国ではきちんと進めています」と入れるとか、そういうところをもう少し工夫したほうがいいのではないか。それから、平成25年3月の「京都雇用創出活力会議 京都仕事と生活の調和の行動計画の策定」が抜けているような気がする。こっちのほうが大事である。

11ページは「八幡市の取り組み」なのに、丸の1つ目「～企画・調整などが実施されました。」とある。「～実施しました。」と一人称のほうがいいのではないか。

第3章の1ページ「プランの体系」で、「女性活躍推進法第6条に基づく市町村の推進計画」と、301人以上の事業主への八幡市の「特定事業主行動計画」もある。それも入れておいたほうがいいのではないか。どこに入れるのか。基本目標2の主要施策1のところ、市町村の推進計画が書いてある。こんな感じで「女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画による取り組みの推進」みたいなことを、入れたほうが分かり易いと思う。

3ページの丸2つ目「慣習や慣行は、それぞれの目的や経緯を持って生ま

れてきたものですが、男女共同参画社会の形成という新しい視点から見た場合、の次文が分かり難い。「～男女の社会における立場の違いなどを反映して、結果的に男女に中立的に機能しない場合があります。」とあるが、「男女の性別による役割分担等を反映して」ではないのか。

4 ページの成果指標で「地域社会で男女の地位が「平等になっている」と答える人の割合」を 50%ではなく 40%にしている。審議会委員の割合は 4:6 ということはよくあるが、これは半分ぐらいの人が「平等になっている」のではないか。わざわざ 40%にするのは、何故か。

10 ページも分かり難い。丸の 4 つ目「一方、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関して、希望としては」の次文が分からない。「『家庭生活』優先、「『仕事』と『家庭生活』優先」、「『仕事』、『家庭生活』、『地域・個人の生活』を両立」の比率が高いものの、」とあるが、一体どれが高いのか。意味が分からない。書き方を変えたほうが良いと思う。

12 ページ（2）の丸の 2 つ目「～労働時間短縮、フレックスタイム制の導入など働き方の見直しについて～」これはこれでも読めないことはないが、例えば 3 歳未満の子どもがいる場合は、男女ともに短時間勤務制度がある。そういうことは入れないのか。単に労働時間の短縮というと、なかなか動き難いことと、フレックスタイム制の導入といくのか。

14 ページ「セクシャル・ハラスメント」の説明があるが、例えば括弧書きで（男女雇用機会均等法の 11 条）と入れておいたほうが、分かり易いのではないか。それから「マタニティ・ハラスメント」も「～見受けられる。」ではなく「～見受けられます。」ではないか。統一したほうが良い。

15 ページの「農業、自営業における男女共同参画の推進」の丸の 2 つ目「農業に携わる女性が相互に連携・親睦を深め、活動の充実を図るとともに地域の暮らしと農業の発展に資する活動を支援します。」後半はいいが、せっかく書くならもっと踏み込んで欲しい。流れ橋で農業を独自化して起業した女性達がいる。単に「連携・親睦」ではなく、例えば「農業に携わる女性のネットワーク化等を推進し、新商品やサービス開発等の新たなチャレンジにより、地域の暮らしと農業の発展に資する活動を支援します。」と、踏み込んだほうが絶対にいいと思う。後半に「地域の暮らしと農業の発展」まで書いている。これは結構大事である。それから、同じように【主な施策・事業】も変えて欲しい。「農業に携わる女性が相互に連携・親睦を深め、活動を充実」から少し踏み込んで欲しい。

16 ページの「高齢男女の社会参加促進」のところで「閉じこもり」という言葉を使うのか。

17 ページだが、言葉を大事にしたいと思う。丸の 3 つ目「労働時間短縮や休暇制度の普及」とあるが、もう一度確認すると、男女の法律では「育児・介護休業」である。次に「介護休暇」というのもある。この言葉をしっかり正しく使ったほうが良いと思う。「労働時間短縮や育児・介護休業制度の普

及」とするのか。「休暇」だけでは分からないと思うので、もう少し精査して欲しい。「男性の育児休業」と書くのか。その時に「男性の育児休暇」というのはおかしい。「介護休暇」や「看護休暇」を散りばめると、正しく分かると思う。それから細かいことだが、「職場における環境整備や社会の意識啓発や～」と、「や」が続いているので、「また」で切ったほうがいい。それから大事だと思うのは、最後の丸の「～組織の長に女性が就くのは少ない状況になっています。」とあるので、「～男女共同参画の視点から、女性の活動を正当に評価するとともに～」の後に「物事を決める場への女性の参画」を入れてはどうか。「役員等」と入れてもいいかもしれない。そして「～また、男性の地域への参画を～」としてはどうか。女性の下働きを評価しているだけでは弱い。その繋がりでもう19ページに丸をもうひとつ付け加えて、「役員等、物事を決める場への女性の参画を進めましょう」と是非入れて欲しい。硬い言葉では「地域における多様な政策・方針の決定過程への女性の参画を進めましょう」となるが、分かり易いのは先ほどのほうである。

20 ページの丸の1つ目「～特に被害を受けやすい女性の場合」という枕詞は、誤解を生むと思う。結果として女性の被害が多いことを書くのであれば、「被害者の多くは女性であり」と書かなければいけない。痴漢「50.8%」、盗撮「2.5%」、ストーカー「9.9%」、セクハラ「14.6%」、DV「15.7%」という数字はどう出てきたのか、もう一度精査して欲しい。

25 ページの丸の3つ目「高齢者を取り巻く環境については、男女の賃金格差や非正規雇用の女性が多いことから深刻な状況です。」とあるが、男性の高齢者も大変だという話があった。「～男女の賃金格差や非正規雇用の女性が多いことから」の次に「高齢単身女性に貧困等の生活困難者が多いことや男性の場合も生活困難者が増加しています。」と繋げたほうが分かり易いのではないか。強調するのであれば「～深刻な状況です。」としておく。あと、最後の丸の「性的指向」について、これが市町村で入っているところは少ないと思う。

35 ページの丸の2つ目「男女共同参画や女性問題等」とある。最初の頃は言っていたが、女性に問題があるみたいで今は言わない。これは、「男女共同参画」だけでいいのではないか。同じく下の表の「市出前講座による啓発」にも「女性問題全般」と書いてある。ここでもし書くとすれば「男女の人権」、もしくは特に問題の対象で書くのであれば、例えば「女性・高齢者・障害がある者・外国人・同和問題」という書き方で、同和問題の場合は「問題」を付ける。「女性問題」はもうあまり使わないと思う。

36 ページに、いきなり「ジェンダー」が出てくる。もし使うなら、「ジェンダー」をきちんと定義しておかないと分からない。国のものを見ると、使い方が違う。「男女共同参画の視点にたった～」としてはどうか。

38 ページの「市民参加」を「市民参画」としては行き過ぎか。やはり発言もして、責任も持ってもらわないといけない。皆さんどうか。

会長	<p>他にご意見があれば、お願いしたい。言葉の使い方は後々まで残る問題だし、一字違うだけで随分変わってくると思う。まとめて、後ほど事務局からご回答願いたいと思う。</p>
H 委員	<p>今パブリックコメントをしている府の取り組みは、ここまでたくさん書いていない。こういうのを書いておくと勉強になるしいいと思うが、大事なものが抜けていたりする。順番等について私も一緒に考えるが。</p>
C 委員	<p>先ほど、痴漢が 50.8%とあったが、市民アンケートのまとめの 7 ページの上から 8 行目では「痴漢にあった」が 31.7%である。違う集計の仕方だったのか。</p>
事務局	<p>お手元の調査報告書の 63 ページをご覧いただきたい。女性だけに絞った割合を見ると、女性で痴漢にあった経験のある方が 50.8%、男性の割合を合わせると 31.7%になる。</p>
C 委員	<p>2 人に 1 人が痴漢にあっているということだし、重大な問題である。男女の人権意識の教育がすごく大事だと思う。痴漢は性犯罪である。</p>
事務局	<p>前回プランの時は 52.8%だった。</p>
C 委員	<p>すごく多い。 この冊子の作り方として、【市民や事業者にできること】という項目を基本目標の最後におこしている。例えば 16 ページの書き方では、上の囲みと変わらない。これはどこに係るのか。10 ページの基本目標 3 に対して書いてある。せっかくのプランなので、市民や事業者にできることは一番大事なことでと思う。できれば、基本目標のもっと前に置いてはどうか。</p>
H 委員	<p>私は逆に取った。例えば 16 ページだったら、女性の活躍推進法によって事業主が計画を作って云々と 15 ページに書いてあるので、最後に書いてある【市民や事業者にできること】というのは、本当に身近で皆がまず心掛けてここから始めましょうと捉えた。あまり違和感はなかった。</p>
C 委員	<p>主要施策 5 と同じような、ひとつの独立した項目だととらえた。</p>
H 委員	<p>八幡市の趣旨が、皆が身近なところから、明日からできることはここからということであれば、それが分かるように書かないと、おっしやるような感じになる。</p>

C 委員	この中に吸収されてしまって、目立たなくなる。
H 委員	何かトーンダウンしてしまう。
C 委員	皆の気持ちがここに「なるほど」といくような構成にして欲しい。
H 委員	ここは二重枠で囲ってかれている。
事務局	例えば、八幡市第4次総合計画の後期計画を策定する時に、「目指す社会」を頭に出した。それと同じような考え方になるかと思う。
C 委員	同じ括弧【 】なので、分かり易くして欲しい。前に持ってこなくてもいいが、読んでいてそこに目がいくようにして欲しい。
会長	他にご意見はあるか。色々ご意見をいただいたが、事務局で修正・変更する箇所等はどうか。
事務局	<p>考え方しか言えないと思う。まずH委員からいただいた第1章「プランの基本的な考え方」の丸の3つ目については、確かに重なっている文章になっているので、ここは整理をして分けて分かり易くしたい。</p> <p>それから2ページ目の「ワーク・ライフ・バランス」の説明文は、浜野委員がおっしゃる通りである。もう少し説明を詳しくしたい。</p> <p>5ページの「プランの性格と位置づけ」の丸の2つ目は、私が見てもおかしいと感じた。京都府の男女共同参画は「KYOのあけぼのプラン」という名称になっている。これが現在は「新KYOのあけぼのプラン（第3次）」となっている。現在、京都府においても素案ができてパブリックコメントを行っている。後期計画については進行中なので、そこまで正確に入れるべきかと思っているし、国においては昨年12月25日の閣議決定において、第4次男女共同参画基本計画が決まっている。その辺も含めて、書き直しをしたい。下の注釈のですます調の部分は、統一すべきなので事務局の完全なミスである。</p> <p>8ページ（2）「国内の動向」で、おっしゃるようにポイントの部分だけ載せるべきだと思っている。再度見直していきたい。最初の丸の部分は、私もそこまで必要なかと思っている。</p> <p>9ページの「京都府の取り組み」、10ページについても、できるだけ最新情報を載せたい。</p> <p>11ページの「八幡市の取り組み」の1つ目の丸の「～実施しました」と修正したい。ここについても、再度事務局でしっかりと見直していききたい。</p>

	<p>第3章「プランの体系」の「女性活躍推進法」の関係で、「特定事業主行動計画」もできれば入れる方向で考えたい。</p> <p>第4章の「プランの内容」の3ページの丸2つ目「～男女の社会における立場の違いなどを反映して～」という表現は、前のプランの時に使ったと思うが、確かに読んでみると分かり辛い。誤解を招くような表現は避けたいので、コンサルと調整して訂正したい。</p> <p>4ページの成果指標だが、40%に置き直した理由としては、あくまでもこれは中間見直しなので、当初の目標値に達していないためそのままいいという考えに達した。50%のほうが良ければ、懇話会の意見を尊重したい。</p> <p>10ページ基本目標3の丸4つ目のワーク・ライフ・バランスのアンケート結果についての表現は、再度コンサルと考えたい。</p> <p>14ページのセクハラやマタハラの注釈の部分も修正したい。</p> <p>15ページの農業の関係で「連携・親睦を深め」というところだが、実際に支援をしている。ただ、流れ橋のほうは解散されたということで残念だが。助成を実際に行っているのもう少しここはしっかりと書きたい。</p> <p>「閉じこもり」については、これも前のプランでそうになっていたが、あまりこの言葉を使わなければ、他の言葉に置き換えてもいいかと思う。言葉を調べたい。</p> <p>17ページ基本目標4の3つ目の丸の「労働時間短縮や休暇制度の普及～」の「休業」と「休暇」という文言については検討したい。</p>
H 委員	<p>むしろ、4つ目の書き方「男性の育児・介護休暇」ここは「休業」だと思う。育児とくっつけて書くと、制度としては「育児・介護休業」になると思う。「介護休暇」は別にある。そこがまぜこぜになっている。精査して欲しい。</p>
事務局	<p>それと、その最後の丸だが、確かに「物事を決める場への女性の参画」ということを入れたほうが分かり易いと思う。</p> <p>19ページの下に【市民や事業者にできること】というのは、分かり易く啓発の意味を込めて書いている。</p> <p>20ページの「特に被害を受けやすい女性」というのも、前回のままだと思う。先ほどH委員がおっしゃったように「被害者の多くは女性であり～」のほうが分かり易いと思う。</p> <p>25ページの「LGBT」の説明は修正している。</p> <p>32ページの丸の1つ目の中段くらいの「主に妻・パートナー（女性）」、「主に夫・パートナー（男性）」としたほうが良いと思う。</p> <p>35ページ2つ目の丸の「女性問題」は、確かに直すべきだと思う。削除すればいいと考えている。それと【主な施策・事業】の中の「出前講座」は「女性の人権問題」という意味合いなので、ここは整理したい。</p>

H 委員	<p>36 ページの「ジェンダー」は「男女共同参画の視点」でいいと思う。特に注釈を入れてまで「ジェンダー」を出す必要もないと考えている。</p> <p>37 ページ2つ目の丸に「八幡市男女共同参画一歩フェスティバル」と漢字で「八幡市」と入っているが、平仮名で統一しているので修正したい。</p> <p>38 ページの「市民参加」を「参画」にしてはどうかということだが、前回プランでは「男性の家庭生活への参加」だった。そこを「参画」に直しているので、これも「市民参画」としたほうがいいと考えている。</p> <p>全体を通じて注釈に係るところは、「※」を付けたいと考えている。漏れがあるかもしれないが、考え方としては以上である。</p> <p>私も見直す中で3点あった。</p> <p>1 ページ「プランの体系」の1行目「～国計画との整合を図り見直された」という枕詞は、「社会情勢の変化に伴う新たな課題に対応するため見直された」と書かないといけないので、それが長ければ取ればいい。</p> <p>20 ページの丸の2つ目の最後が少し弱い。「～様々な対策を検討していく必要があります。」となっているが、これは八幡市のDV基本計画を兼ねている。それならやはりここは「検討」ではなくて、「～様々な対策に取り組んでいく必要があります。」としたほうがいいのではないか。</p> <p>37 ページの丸の5つ目「～今後、男女のあらゆる分野への社会参画を促進し、～」の「社会」は不要ではないか。「男女のあらゆる分野への参画を」でいいのではないか。家庭も入るので。</p>
会長	<p>色々ご指摘をいただき、回答もいただいたが、これが最後の会議になる。次はパブリックコメントの結果報告となる。皆さん最後にいかがか。</p>
H 委員	<p>意見を言っておいて八幡市がまとめられて、その後会議はないのか。それとも、送ってもらって意見を言うのか。</p>
事務局	<p>今回の素案でパブリックコメントを取って、市民の方から意見をいただく。またご意見があれば、パブリックコメントと同じようにいただければ、それをまとめたものを次回会議でもう一度チェックをしていただきたいと考えている。</p>
会長	<p>他にご意見がないようであれば、議題（2）について事務局より説明願いたい。</p> <p>（2）パブリックコメントの実施について</p>
事務局	<p>○「パブリックコメント募集広報」に基づき説明</p>

C 委員	広報を見せていただければいいのか。
事務局	ホームページでは見れるようにしているのと、委員の皆様には送らせていただく。あと、公共施設に中間見直し案を置いてご意見をいただきたい。
F 委員	すごく初歩的な質問をさせていただきたい。条例では「やわた市」と平仮名になってはいないか。
J 委員	条例では漢字になっている。
F 委員	平仮名で使う時はあるのか。
事務局	先ほどあったイベントの時に平仮名を使う場合がある。
会長	パブリックコメントについての質問はあるか。
B 委員	文字数の制限はないのか。
事務局	特に制限は考えていない。次回、皆さんに質問内容と市の考え方を提示したい。
会長	それは次回か。
事務局	次回である。2月29日まで21日間あるので、3月予定の次回にはパブリックコメントの結果も合わせて、その内容も事務局案として素案に追加したい。
	3. 次回開催日について
会長	それでは、次回の日程調整をお願いしたい。
事務局	パブリックコメントをいただいて、修正等をする時間をいただきたい。3月に入らないとできない。日にちの案として3月14日を予定している。3月に議会等もあるので、その日で調整させていただければ有難い。
H 委員	予定が入っている。
事務局	14日案で日程を空けておいて欲しい。

B 委員	同じような時間か。
事務局	時間は 14 時からで、会場は文化センターを予定している。 14 日以外では、18 日を第 2 候補でいかがか。
会長	18 日は福祉のつどいの前日になる。
事務局	早急にご連絡させていただきたい。どうしても欠席される委員については、事前にご意見をいただき、反映したいと思っている。1 週間以内に日にちだけは確定したい。
会長	最後に J 委員からお願いしたい。
J 委員	○あいさつ この後パブリックコメントを行うが、2 月 5 日までにご意見をいただければ、パブリックコメントに出す素案を修正したいと思っている。最後の締め の段階にきているので、できるだけ皆様のご意見を反映させていただきたい。
会長	それでは、本日はこれで終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。
	4. 閉会